

平和を実現する人々は幸いである（マタイ5：9）

第二学期始業式（8月25日）の講話から

校長 大岩 厚

今、新型コロナウイルスデルタ株の感染拡大で、毎日の生活がたいへん厳しい状況にあります。2学期の始業式もチャペルには集まらず、各クラスで感染対策を行って実施しました。このような状況ではありますが、皆さんと2学期始業の時を迎えられることに心から感謝したいと思います。

さて、皆さんにとって、この夏休みはどんな日々でしたか。また、今日からの2学期をどのような心構えで迎えていますか。この後、マスク越しではありますが、友達と語り合えるといいですね。

この夏、開催の意義や是非も含めて話題となった東京オリンピック・パラリンピックが行われました。アスリートの活躍や、思い通りの結果が出せなかった選手へのリスペクトなどに注目が集まりました。オリンピックは、平和の祭典とも言われます。その理念・目的として、人間の尊厳保持に重きを置く平和な社会を推進すること、とのことが掲げられていますが、皆さんは、社会の平和や多様性について考えていただけましたか。

8月9日には、出来るだけの安全対策を取って、平和祈念集会を行いました。本校の中庭にある平和を願うモニュメントに3本の泉が流れている理由は、被爆地である広島・長崎・福島への鎮魂の意味がある事を確認しました。また、皆さんと平和や戦争・核兵器について考え、原爆や戦争で亡くなったり、愛する家族や大切な友を失ったり、被害に遭った方々のために祈る機会を持つ大切な時でした。

お盆の時期は、感染対策のため移動を最小限にしようと心がけましたが、季節外れの梅雨前線の影響で雨が降り続き、自宅で過ごすことを余儀なくされました。「やまない雨はない。」と言われますが、大雨特別警報（レベル5）が発令された時には、このまま降り続いたらどうなるのだろう、と不安になりました。雨はやみましたが、大雨の被害に遭われた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

さて、2学期に向けて校長室で資料を整理していると、1960年3月に発行された、活水高校文芸部が制作した冊子が目にとまりました。裏表紙に、ゲーテ集からの一文がありました。

「君はどこまでもさすらう気か。見よ、よきものは足下にある。ただ幸福をしっかりと掴むことを学びたまへ 幸福はいたるところにあるのだから。（手塚富雄訳）」

平和だからあたり前の生活が出来る。その平和を実現していくために、足下にあるよきものに目を向けて、ともに新学期の歩みをしていきましょう。

平和祈念集会 今年も祈りのうちに

8月9日（月）、中高各クラスで千羽鶴を作製するなど、事前の準備をして、今年も平和祈念集会を、全校でまもることができました。コロナ対策として高校Ⅲ年生のみチャペルに、他の学年は各教室でその中継を観ながらの集会でした。

まずYWCAの司会による礼拝、続いて『希望の平和学・特別編』と題して、本校の「長崎平和学」の授業を担当されていた、山川剛先生の講話を聞きました。講話は、事前に録画したVTRで、本校平和学習部員を前に、山川先生が語りかけたり、質問に答えたりされる様子を撮影したもので、生徒たちは、熱心に聞き入っていました。

内容は、「私の子供時代」、「私の被爆体験」、「被爆者の願い」、「その願いは実現可能か」の四部構成となっており、お爺ちゃんからのメッセージです、と先生ご自身が語られているとおりに、これまでの先生の語り部活動の集大成とも言えるものでした。

次に中高各学年代表者による意見発表がなされました。それぞれのタイトルは以下のとおりです。

- 中学1年 山林 杏 「平和の大切さ」
- 中学2年 柳田 紅愛 「相手の気持ちを考える」
- 中学3年 村本 春音奈 「平和とは何か」
- 高校Ⅰ年 富田 佳穂 「これからは、私たちが世界へ」
- 高校Ⅱ年 河原 愛莉 「へいわってなんだろう」
- 高校Ⅲ年 吉野 彩花 「私たちができる平和への第一歩」

続いて各クラス代表による鶴の献納、平和学習部高Ⅰ部員の森万由子さん、富田佳穂さん、堀麻里菜さん、牧沙也加さんによる「活水中学・高等学校平和宣言」の後、11時2分に全員で起立し黙祷をしました。

最後に、校長先生のお話をもって閉会しました。

なお、山川先生の講演要旨、各学年代表の発表原稿、活水中学・高等学校平和宣言、そして当日プログラムは、それぞれ生徒会誌「活ける水」第43号に全文掲載予定です。（文責：山口真樹人）



秋のオープンスクール 英語科紹介

10月23日（土）

中学模試（国語・算数・解説）
9：00～10：35

中学オープンスクール
10：50～12：00

高校英語科紹介
11：00～11：50

高校オープンスクール
13：00～15：20

詳細は本校HPでご確認ください。

27 25 23 22 20 19 17 12 11 4 1
月 土 木 水 月 日 金 日 土 土 水

高Ⅰ小論文模試
 特進土曜課外
 高Ⅲ模試
 高ⅡⅡ看護医療模試
 高ⅡⅠスタディサポート
 高Ⅲ模試
 演技発表会
 活水女子大OC
 敬老の日
 月曜日の授業
 演技発表会予備日
 前期ワックス掛け
 秋分の日
 特進土曜課外
 中間考査時間割発表表

9月行事予定



今月の聖句

あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする
 ヨハネによる福音書8：31-32

私たちは、何かを言おう、何かしようという時に、こうしたらみんなはどう思うかなと考えます。もちろん、他の人がどう考えるかを想像することが、よい意味で働くこともあります。しかし、それが気になって、自分の思いや考えが制約されてしまう、自由ではなくなってしまふこともあります。イエス様は、神さまといつも向き合って歩むことによって、真理を知り自由になるとおっしゃいました。それは、本当に見上げるべきもの、本当に畏れるべき神さまを知れば、それ以外の他の人の視線や評価に囚われずに、「自由」に進むことができるのです。神さまを知ることが、私たちの本当に自由な歩みにつながります。

（文責：三河悠希子）

女性の視点での企業見学会

V・ファーレン長崎で

8月6日（金）、長崎県県民生活環境部 男女参画・女性活躍推進室のコーディネートにより、V・ファーレン長崎での企業見学会が開催され、高校Ⅱ・Ⅲ年生の希望者する生徒・保護者が参加しました。

見学会では、スタジアムシティ事業企画部の藤澤様から、3年後に完成予定のスタジアムシティの概要を伺ったり、V・ファーレン長崎の中井様、辻村様から、実務ややりがい、プライベートな時間の使い方などをお話いただきました。

生徒達にとって、女性の活躍や地元就職について関心を持ってもらうよい機会になったと思います。

（文責：野田定延）



主権者になるために

8月25日（火）、来年18歳になる高校Ⅱ年生を対象に動画による説明会を実施しました。「有権者として政治に関与すること」「投票について」「選挙運動について」の講習を終えて、生徒の感想には以下のようなものがあり、有権者となる自覚を持つ良い機会となりました。以下、生徒の感想。

「大学で長崎を離れる場合は住民票を移して投票に行こうと思います。」「若者の投票率の低さにびっくりしました。この事実を改善するためにも絶対に投票に行きます。」「一人一人の一票が社会全体の動きを大きく変える可能性があることを忘れずにしっかり政治に関わっていきたい。」「より多くの方が投票できるように様々な投票制度があることを知る事ができた。」「選挙運動にはルールがあるので注意しなければならない。」（文責：五貫俊子）

吹奏楽 全国大会へ

8月22日（日）、福岡市で行われた第66回九州吹奏楽コンクールにおいて、長崎県代表として出場した本校吹奏楽部は、金賞、九州代表を勝ち取り、10月に開催される全日本吹奏楽コンクールの出場が決まりました。

九州を勝ち抜くのは至難の業。県大会が終わったら、個々の技術を高めるため、基礎練習に戻り、丁寧に楽器を演奏することに集中しました。

今回はコロナ感染の心配、そして集中豪雨もありましたが、大会当日全員で参加できたことが何よりも嬉しいことでした。次は名古屋で活水サウンドを響かせたいと思っています。皆さん、応援よろしく御願います。（文責：杉町たまみ）



中学新体操九州5位

8月10日（火）、大分市で開催された九州中学校総合体育大会新体操競技に、本校新体操部は長崎県代表として、団体戦・個人戦に出場しました。

結果は、団体が5位（小島、小林、近藤、増浦、朝長）、個人は小林さんが総合13位、朝長さんが総合16位でした。（文責：向井杏奈）



高II「活水女子大学出前授業」

8月26日（木）、高校Ⅱ年生を対象に「活水女子大学出前講義」が行われました。

生徒たちはそれぞれ自分の希望にしたがって授業を受講しました（下記）。

英語学科 「異文化理解おもしろ講座」

日本文化学科 「マーケティングとは？」

音楽学科 「作曲してみよう」

健康生活学科 「管理栄養士を目指すために必要なこと」

生活デザイン学科 「グラフィック・プロダクト～デザインと仕事」

子ども学科 「幼児教育の魅力とは？」

看護学科 「看護師の活躍の場」

大学の講義は90分のため、先生方は50分におさめるのが難しいと口々に話されていました。

各先生、授業を工夫されており、高校生にとってよい機会となりました。

（文責：古田雄介）



美術部 まんが甲子園 参戦

8月6日（金）と7日（土）、全国高等学校漫画選手権大会（通称まんが甲子園）に、本校美術部が、全国から予選を通過した40校中の1校として参加しました。本選に臨んだのは、高校Ⅰ年の宮崎桜子、岩本悠愛、濱添たまきさんの3人で、参加校の中で1年生だけの学校は活水高校だけでした。選考はオンラインで行われ、内容は課題に合った作品を、5時間半かけて描くというものでした。

課題は、「アナザーオリンピック」、「30回目の正直」でした。オンラインによる大会でしたが、映像画面を通して交流ができました。残念ながら敗者復活はできませんでしたが、全国の会場をリアルタイムで結びリモート大会は良い経験となりました。

（文責：波多野慎二）



ビーチバレー 九州大会準優勝

8月1日（日）、唐津市西の浜で行われたビーチバレーの九州大会「アンダーエージU-23佐賀大会」女子の部で、高校バレーボール部Ⅱ年の尾崎由芽さんと竹田夢来さんのペアが、準優勝しました。

普段練習している体育館の床とは勝手の違う砂浜で、しかも成人の国体選手も出場する中での準優勝は、2人の実力を九州中に示しました。

（文責：山口真樹人）



アーチェリー 瀬川さん 九州ベスト8

7月17日（土）～18日（日）に佐賀県立高志館高校グラウンドで行われた九州大会、そして8月21日（土）に福井県鯖江市東公園陸上競技場にて行われた北信越インターハイのアーチェリー競技70mラウンド女子個人戦に、Ⅱ年の瀬川藍瑠さんがそれぞれ長崎県代表として出場しました。結果は九州大会ベスト8、インターハイは女子178名中55位でした。

（文責：山口真樹人）

塚本さん 全国総文祭に

8月2日（月）～4日（水）、和歌山県橋本市において開催された第45回全国高等学校総合文化祭の国わかやま総文2021写真部門に、写真部Ⅱ年の塚本寧々さんが、長崎県代表として出品参加しました。

307点の全国作品に感銘を受け、全国の写真部仲間と写真について語り、和歌山城や貴志川線で撮影を行うなど、充実した大会でした。

（文責：石村直義）



PIARAコンで揃って1位に

第25回PIARAピアノコンクールファイナルにおいて、音楽コースⅡ年の石川奈那美さんが、シニアB部門第1位PIARAグランプリ及び静岡県知事賞に、また、同コースⅡ年の三浦蓮月さんが、デュオD部門第1位とPIARAグランプリ及び静岡県知事賞に輝きました。